

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	車庫シャッターバネ損壊による重量シャッター落下事故
3. 体験した事例の中心的要素	シャッターバネの金属疲労と経年劣化により、折損したもの
4. 体験した事例の原因・理由	定期点検の不履行と安全装置の未設置

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1 . 発生日時	平成 19 年 5 月 7 日 午後 10 時頃
2 . 発生した当時の天候	曇
3 . 発生した活動現場	屋内：消防庁倉庫庫内
4 . 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5 . 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	死亡していた（させていた）だろう。
6 . どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	飛来・落下ぶつにぶつかる、
7 . 事例体験時の活動	救急、その他：帰署して、車両を車庫内に駐車した後 []
8 . (7 の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：活動終了帰署後
9 . 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

当事者A	年齢[30]歳、 勤続年数[7]年、 現場経験年数[6.5]年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員]
当事者B	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
当事者C	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者	退避	
経過2			
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた。避難・退避がうまくいった。たまたま、負傷事故にならなかった。

心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	はい
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

その他

l. その他の理由があつた。

いいえ

消防分署車庫シャッターバネ損壊事故

1 発生日時

平成19年5月7日 22時頃

2 事故の状況

救急隊が活動を終了して帰署し、シャッターを閉めようとしたところ、中段から突然シャッターが落下して、コンクリートの地面に激突したものの、職員1人の肩が、シャッターに触れて、ホイッスルのチェーンが切れただけで、負傷はなかった。

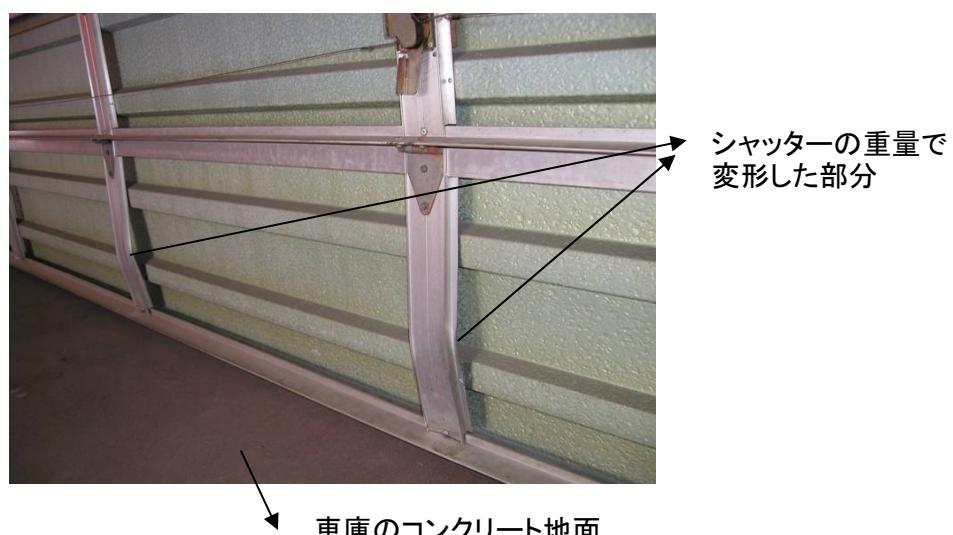
3 損壊の状況

コイルバネが錆付き、経年劣化や金属疲労等によって、折れたものと判明した。



4 メーカー側の確認

平成19年5月8日 11時15分に、某シャッターのメンテナンスが来庁し、確認の結果、1枚のシャッターに2本のコイルバネが装着しており、この2本と、ワイヤーも真っ赤にさびており、いつ損壊してもおかしくない状況であること。さらに、西側の無事故のシャッターも同様に、いつ切れてもおかしくない状況であったことが報告された。設置後に定期の点検をすることについては、法的には義務付けられていないものの、安全管理のために、年1回程度の定期点検は実施したほうが望ましいとの回答であった。



5 定期点検の実施状況

昭和58年の分署開設以来、一度も点検は実施していない。